
別れ

ユカリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

別れ

【Nコード】

N3371K

【作者名】

ユカリ

【あらすじ】

やつと会えると『彼』を待つ『彼女』。

しかし…

ご指摘を頂き、少し改稿しました。初心者の為、おかしい部分もあると思いますがよろしくお願いします。

（前書き）

初投稿です。

つたない文ですが、よろしく願います。

キツキイー

車のスリップ音が聞こえた。

次の瞬間

ドン

いつの間にか目の前に迫っていた車。

私の体は宙を舞った。

ドサッ

地面に体が叩きつけられる。

周囲にいた人が騒ぐ。

その声に釣られ、野次馬が人だかりを造っていく。

そんな人混みを掻き分けて男性が私の方へ駆け寄ってくる。

「やつと来たあ」

やつと出せた声は掠れてしまった。

道路に横たわる私を見て、彼は涙を流す。

泣きながら必死に私の名前を読んでいた。

（ばかだなあ。やつと会えたのにね…）

いつの間にか私の顔からも涙が零れていた。

だんだん意識が遠退いていく。

また会える。

いつか…いつか出会えたら、今度こそ…。

だから今はお別れ。私は瞼を閉じながら…

「ありがとう」と呟いた。

（後書き）

いかがでしょうか？

初心者丸出しの文ですが、気に入って頂けば幸いです。
読んでくださった皆様ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3371k/>

別れ

2010年10月28日07時26分発行